

清水エスパルス



【エスパルスエコチャレンジto2050】

地球にやさしいサッカークラブであるために、また次世代に快適なサッカー環境を引き継いでいくために、エスパルスは2021年に『ゼロカーボンスポーツクラブ宣言』を表明しました。4つのCHALLENGE ①in STADIUM ②with SUPPORTER ③with PARTNER ④OURSELVESを軸に、IAIスタジアム日本平の電力実質100%再生可能エネルギー由来化、行政・企業と連携した環境啓発、次世代を担う子どもたちへのSDGs環境教育プログラム等、様々な活動を年間通じて行っています。



静岡市シェアサイクルPULCILEで移動もエコに!



パルちゃん

取り組みをもっと見る!



ジュビロ磐田



【ヤマハスタジアムで地産地消型CO2フリー電気使用】

2019年3月よりスマートエナジー磐田株式会社の「いわたゼロエミでんき」を採用し、再生可能エネルギーにより発電された地産電源を活用したスタジアム運営を行っています。

【地産地消にこだわった遠州お茶ぱんの開発】

ジュビロ磐田のホームタウンである静岡県西部地域(遠州地域)7市1町の緑茶を使用した缶入りパン「遠州お茶ぱん」には、良質な緑茶には旨み成分であるテアニンが多く含まれ、気分を落ち着かせる効果があることから、災害時の非常食としても活用いただける商品です。



僕も毎年、山に登って木を植えています!



ジュビロくん

取り組みをもっと見る!



アスクラロ沼津



アスクラロ沼津では、ホームゲーム会場で古紙の回収やペットボトルキャップの回収を行っています。集まった古紙は再生紙となり、ペットボトルキャップは最終的には再生ゴミ袋となって当クラブのホームゲームで使われます。来場いただくみなさんのご協力が、環境負荷低減、脱炭素につながります。定期開催されるホームゲームを活かして、今後も継続して取り組んでいきたいと考えています。



ホームゲームで楽しく脱炭素! 会場で待ってるよ!



アスルくん

取り組みをもっと見る!



ベルテックス静岡



静岡市をホームタウンとして活動する男子プロバスケットボールクラブ「ベルテックス静岡」では、サステナブルの視点より会場で販売しているドリンクカップをオリジナルリユースカップでの利用を促進したり、植物を原料としたストローを使用しプラスチック製品の使用を抑えたり、ホームゲーム会場でペーパータオルの利用を制限するなど、小さなことから脱炭素プロジェクトに取り組んで参りました。また、試合会場内やイベントで販売しているクラフトコーラやみかんジュースなどの一部の飲食商品では県内産の原材料を使用し、地産地消に努めております。今後も引き続き取り組みの幅を広げていけるよう活動していきたいと思っております!



みんなの一步が、地球のヒーロー!



ベルティ

取り組みをもっと見る!



藤枝MYFC



藤枝MYFCでは、JリーグとJリーグオフィシャルテクノロジーパートナー・Jリーグ気候アクションパートナーのNTTグループとの協働プロジェクト「THINK THE BALL PROJECT®」*へ他の14クラブとともに参加しています。

*「THINK THE BALL PROJECT」は、NTTグループの持つテクノロジーを用いて、ファン・サポーターや市民が気候アクションに参加しやすく継続しやすいシステムをつくり、Jクラブと各地域に展開することで、人々の環境に関する日常の行動変容を促し、地域活性化を実現するものです。

この度、皆様「THINK THE BALL PROJECT」へより参加していただけるよう専用アプリの配信が始まりました。これを機会にサッカーを通じて気候アクションに参加し、皆様と日常をシェアしましょう!

魚河岸シャツを着て過ごして冷房を下げ過ぎないようにしています。



蹴っとばし小僧

取り組みをもっと見る!



静岡ブルーレヴズ



2022年11月、静岡ブルーレヴズは、重点テーマとして定めた社会課題の解決に貢献するためのプロジェクト「SCRUM Action」を立ち上げました。脱炭素社会の実現に向けて、取り組みを行っています。昨シーズンはホストゲームの会場にて雑がみ回収の取り組みを実施しました。スタジアムにご来場の多くの方にご協力いただくことができました。その他、取り組みの詳細は静岡ブルーレヴズの公式HP・SNSをご覧ください。



みんなで力をあわせて脱炭素に取り組もう!



レヴズ

取り組みをもっと見る!

